

研究開発助成（海外）申請書記入上の注意

全般についてのお願い

- 1、2 ページ目については、レイアウトを変更しないでください。
- 3 ページ目以降の記入枠については、拡大、縮小、図表等の挿入をいただいて結構です。但し、全体で 6 ページ以内に収めてください。

II. 申請助成金額

300 万円を上限に、50 万円単位で記入ください。

IV. 国内連絡先

例えば共同研究などで関係のある日本の研究機関や医療機関の研究者などをご設定ください。

V. 関連研究開発に対する他所からの助成金、補助金

他機関から助成金等の交付を受けている場合には、その種類・課題・期間・金額を最新のものから 3 つまで記載ください。未定の場合は記載不要です。

VI. 共同研究者

3 名まで記載をお願いします。

推薦書

推薦者は申請者の所属長とします。また、1 推薦者から 1 件の推薦に限ります。

VII. 申請内容の要約（400 字程度）

社会への貢献度、独創性、新規性に関する内容を盛り込んでください。

IX. 研究開発の目的

当該研究開発が医療現場等において提供する価値、期待される社会的貢献についても付記ください。

医療現場等における価値の例示：「今までできなかった治療や検査ができる」、「治療成績が向上する」、「副作用が軽減する」、「より早期に治癒する」、「より早期に退院できる」、「患者の痛みや身体的な負担が軽減される」、「検査精度が向上する」、「検査時間が短縮する」、「治療時間が短くなる」、「医療の安全性が向上する」、「病院と在宅をより簡便につなげることができる」、「感染率が下がる」など。

期待される社会的貢献：医療、公衆衛生等の改善など地域社会への貢献に関する内容。

XI. 助成金の使途内訳

実験機器、実験用具、試薬代等々に分けて大凡の金額を記載ください。

助成金の使途は対象事業での直接的に必要な経費とします。

申請者が所属する組織の間接経費、一般管理費（いわゆるオーバーヘッド）は助成の対象とはなりません。

XII. 研究開発実施計画

実験・試験プロセスとスケジュールを記載ください。

共同研究開発者がいる場合には役割分担を記載ください。

XIII. この研究開発テーマに関連する研究開発の動向とこの研究開発テーマの優位性

現在の診断・治療方法や競合する医療技術との比較、それらと比較した優位性及びその評価尺度について記載ください。

XIV. このテーマに関連する申請者自身の代表的な論文（過去 5 年程度）

人名、論文名、雑誌名、発行年、巻号、ページの順に記載し、特に代表的な論文に○付けてください。

論文そのものの添付は不要です。